

りょうCaféのご案内



1. りょうCafé ー議会レポー

- 2019年4月5日(金) 19時～21時@中央公民館第6・7集会室
 - 2019年4月6日(土) 13時～16時@飯山満公民館第2集会室
- 平成31年第1回定例会の報告会です。今定例会で決まったこと、話し合われたことの注目ポイントを、石川りょうがわかりやすく解説します。

2. 出張りょうCafé

- 3人以上の人数を集めていただければ、石川りょうが市内のどこにでも伺ってりょうCafé議会レポを開催いたします。お問合せください。
- 日々の相談事や、船橋市政へのご意見・ご要望等は、お一人からでもいつでも受け付けています。ご都合の良い日時と場所に伺います!



*参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください!
*日時等の変更の可能性があるので、石川りょう公式サイト、他のSNS等で必ずご確認ください。

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら →



プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(一期目)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT) 257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ふなばし市民大学学校平成26年度ボランティア入門学科



▲ ビール検定2級に合格!

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。
発行者: 石川亮
住所: 船橋市芝山3-26-1
携帯電話: 080-6575-4711
固定電話: 047-463-2690
メール: info@ishikawaryo.net

船橋市議会議員 無所属

石川りょう通信

Vol.24

討議資料



地方議員のイメージを変えたい!

2015年4月に初当選させていただいた時の私の公約は、「地方議員のイメージを変える!」というものでした。

政治家は普段何をしているのかわからない、選挙の前にしか出てこない。執行部(市役所)が提案してくる議案(予算案や条例案など)にただ賛成するだけなら誰にでもできる。このような議員不信、そして、議会不要論が蔓延している我が国において、議員のイメージを変えたいというのが私の強い思いでした。

なぜなら、本来、政治家とは、仕事として、主体的にまちづくりに携われる、困っている人に手を差し伸べることができる尊い職業の一つだと思うからです。そんな政治家が変われば、船橋市は、日本はもっと良くなると信じています。

そのために、私は、初当選から4年間、土日を除くほぼ毎朝、市内のあらゆる駅で街頭活動を行いました。1週間に1回、地元の商店街でよるず相談を実施しました。1か月に1回以上のペースでタウンミーティング(りょうCafé)を開催しました。隔月毎に必ず議会活動報告(石川りょう通信)を発行しました。ブログやSNSでも積極的に発信をしてきました。そして、市民の皆さんから呼びいただければ、市内のどこにでも伺って直接お話を聴いて

きました。このような地道な活動の結果、船橋市民の皆さんにとっての議員のイメージを、少しでも変えることができたのではないかと考えています。

今回の通信では、私の4年間の活動を振り返ります。紙面の都合上、全ては書き切れませんが、石川りょうがしっかり仕事をしてきたかどうか、市民の皆さんに採点をしていただきたいと思います。

これらの実績や提言中の政策を踏まえて、2期目はより具体的な行政分野に関するお約束をさせていただきたいと考えています。その内容は、選挙期間中に発行する選挙用ビラや、石川りょう公式ホームページなどで公表します。船橋市民の皆さんに是非とも見ていただきたいと思います。



▲ 船橋市議会本会議場にて

実績

(1) マニフェスト大賞優秀政策提言賞を受賞

私も中心メンバーの一人として、2016年に発足した船橋市LGBT・性の多様性を考える議員連盟は、市内在住の当事者の方々と市長との意見交換会を主催し、そこで出された意見をまとめ、市長に対して2019年度の予算要望を提出しました。この議連の活動を受けて、市はLGBT啓発講演会の開催、人権ポケットブックの発行、市役所における職員対応ガイドラインの策定などを行うようになりました。これらの提言や実績が評価され、**全国の優れた政策を表彰するマニフェスト大賞で、当議員連盟は優秀政策提言賞を受賞しました。**



(2) 部活動指導員の導入と部活動ガイドラインの策定に尽力

教育現場の激務が社会問題になっていますが、その原因の一つに教員による長時間の部活指導があります。国は2017年4月に、部活動の技術指導を専門的に行い、大会引率などでもできる部活動指導員制度を整え、2018年3月には、毎日の練習時間や休養日について定めたガイドラインを策定しました。私は議会の場で、船橋市でも同制度をいち早く導入し、市独自のガイドラインも定めるべきだと提言してきました。その結果2018年12月には、**練習時間を平日は2時間、休日は3時間、そして、1週間に2日は休息日を取ることを定めた船橋市のガイドラインが策定されました。**さらに、**2019年度予算案においては、部活動指導員を雇用するための予算が計上されたのです。**

(3) 中野木小学校第3放課後ルームの開設に尽力

市内の大規模校の一つである中野木小学校。放課後ルームに入れない待機児童が大きな問題となっていました。学校内に空きスペースはありません。そこで私は、**保護者の方々と船橋市役所子育て支援部との直接の対話集会を開催し、保護者の一人が校外の空き物件を紹介。そこに中野木小学校第3放課後ルームが開設されたのです。**

(4) その他(市民の皆さんからのご要望の実現)



▲運動公園バスケットコート ▲海老川自転車専用道路 ▲金杉カーブミラー ▲芝山中通学路LED ▲北習志野ビクトグラム
▲芝山西小通学路フェンス ▲南三咲1丁目に新しい横断歩道 ▲芝山東小裏門道路 ▲前貝塚町の歩道の障害物撤去

提言中の政策

(1) 可燃ごみの収集回数削減の効果検証と夜間の収集時間について

2018年10月から可燃ごみの収集回数が週3回から2回に減りました。事前の説明が少ない中で突然の決定であり、私の中ではこの政策決定の方法には強い疑念が残っています。しかし、その目的が、ごみの排出量削減とリサイクルの推進、そして、収集経費の削減のためならば協力しようと思えました。しかし、大切なことは、その後の効果検証です。**収集回数を減らしたことにより、どれほど排出量が減ったのか、リサイクルが進んだのか、経費は削減されたのか、しっかりと検証することを提言しています。**

そして、ごみの収集時間に関してです。現行、夜間の収集地域は19時までに出さなければならないことになっています。しかし、船橋市に多くいらっしゃる共働きや一人暮らし世帯の方々の中には、この時間までに出すことが難しい人がいます。夜間収集を行っている他市の事例を見ても、この時間は早すぎます。**収集時間を遅らせることを提案しています。**



(2) 行財政改革:美術館など過剰なハコモノ(公共施設)の抑制

船橋市の財政状況は良好であるとは言えません。少子高齢化によって福祉にかかるお金は増大し、公共施設の建替えや耐震化などで借金は膨らみ、市の貯金はどんどん少なくなっています。行財政改革待ったなしの現状にあっては、**過剰なハコモノの建設は我慢しなければなりません。**その最たるものが市立美術館の設置構想です。京成船橋駅近くに建設予定の高層ビルの中に作るという構想が持ち上がったのですが、その費用は初期投資だけで16億円以上。さらに毎年、管理運営費がかかります。**私は、美術館建設というハードの整備よりも、市の所蔵する絵画のデジタル化や、学芸員による子どもたちへの鑑賞教室などのソフトの活動を充実させることの大切さを提案し、美術館の設置にはストップをかけています。**

(3) 路上喫煙及びポイ捨て防止条例と、客引き行為等防止条例

2014年10月に施行された路上喫煙及びポイ捨て防止条例。市内全域ではしないように心がけてもらい、船橋駅と西船橋駅周辺では2,000円の過料を取って取り締まる条例ですが、その効果が実証できていません。定点観測による客観的データが必要です。

2017年12月に施行された客引き行為等防止条例。船橋駅南口、西船橋駅、そして津田沼駅北口での居酒屋などの客引きを禁じるための条例ですが、4名で週3回、3時間ほどのパトロールだけでは効果はほとんどありません。本気で禁じたいのであれば、人員や体制を拡充する必要があります。

両方とも鳴り物入りで成立した条例ですが、**私はその効果検証と内容の見直しを求めています。**

